大阪城

2021 8/2 (月) 14186号

全港湾 西成分会

ごえん 6647-4947

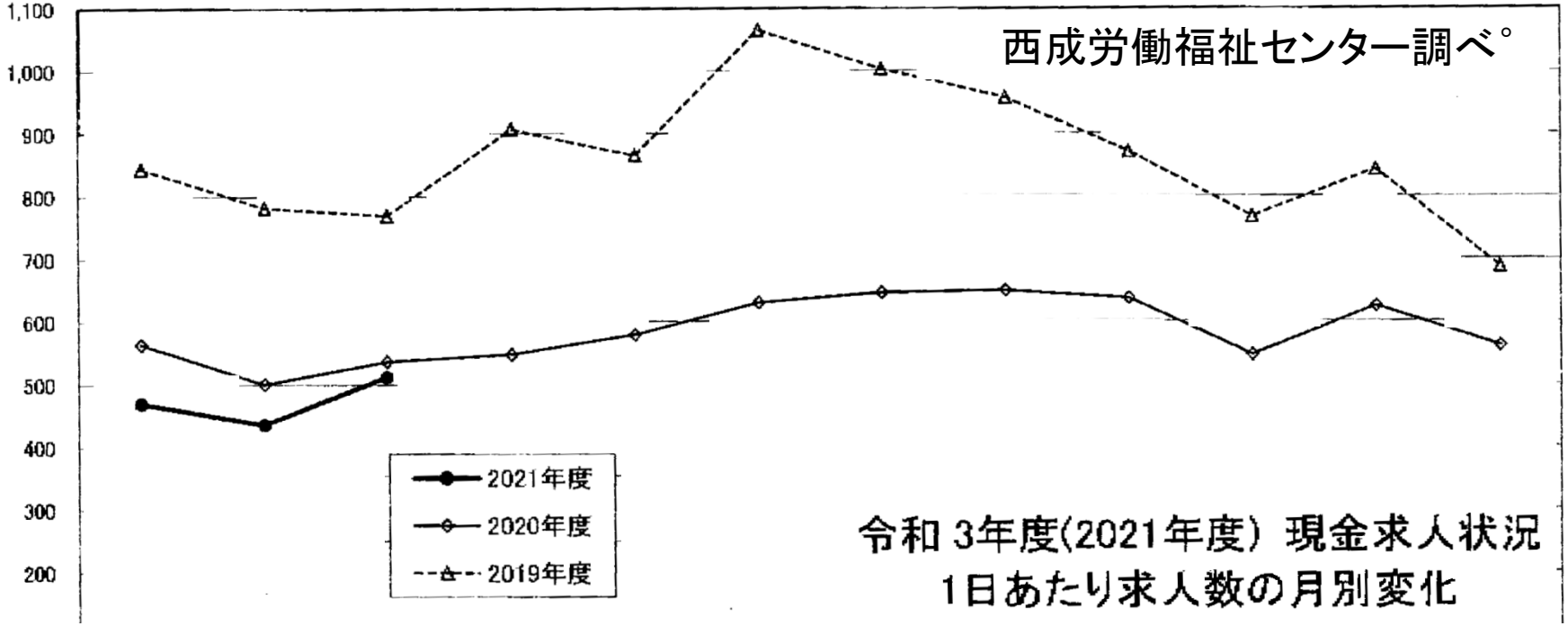
最近、京都に行くことがあった。しっとりした気持ちの落ちつく都市に変化していた。観光都市として生きていこうとの方針で、街づくりも考えぬかれている。ハデハデ、ギンギラの大阪とは違う。

都構想とか、しやがりきに、ムチャクチャやらんでも、昔し、昔こから、京のみやこ(都)ですよ……とかすましているのかもしれない。南部は、今、主流の「軽薄短小」の半導体などの企業が育っている。京セラ、ローム、村田製作所、島津製作所、日本電産、などなど、目には見えないが、現実世界を決する素粒子などを扱う会社である。

もちろん、大阪は大阪の伝統があり、良さもあるので、それを生かしたらいいのだけれど、時代は「軽薄短小」があなどれない力としてあることはおさえておくべきだろう。そんな時代を科学から切り開いた益川敏英(81)さんが7/23になくなった。原子核の陽子や中性子は、まだ小さい「クオーク」によってできていることを発見した。職場の組合の書記長もやりながら、働き、ノーベル物理学賞をおくられている。日本の科学の将来を心配しながら亡くなっている。えらぶらないいい人でした。

猛暑の求人が押し寄せてきました。

回復基調?-盆まで?
でも緊急事態宣言ふたたび



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均
2021年度	470	436	512										473
2020年度	564	501	537	548	579	630	646	649	637	546	624	561	585
2020年度比	-16.7%	-13.0%	-4.7%										-19.2%
2019年度	844	782	769	907	865	1,065	1,003	957	871	767	842	687	863
2019年度比	-44.3%	-44.2%	-33.4%										-45.2%